



TITLE:

十月の天象

AUTHOR(S):

CITATION:

十月の天象. 天界 1922, 2(22): 205-206

ISSUE DATE:

1922-09-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/159784>

RIGHT:

ある。尋常小學國語讀本卷九第十九課星の話
を解説したもので其の内容は左の通りで、小
學校教員諸君の參考の爲めになるであらう。

緒論 (一) 天文大づかみ、(二) 星座と星の
名と、(三) 大熊座、神話、北斗七星、時計と
しての北斗七星、案内星、北斗群星、(四) 少
熊座北極星を見出す方法、北極星、北極星の
異動、(五) 星の種類、(六) 天文學の應用、結論
口繪大熊星座と小熊星座

○廣島支部幹事 七月一日谷本清心、

野村尙、中村勝次、豐島鏡郎の四人の方々に
廣島支部幹事をお願い致しました。

○岡山支部八月通信 (水野)

一、岡山縣主催講習會員有志者の爲めに、岡
山縣女子師範學校々庭で、六日午後七時か
ら十時迄水野支部幹事は星座について實地
の講話をして、若干の恒星や遊星の觀望を
した。

二、岡山縣苫田郡教育會主催の講習會員の爲
めに十一日午後三時から一時間餘、苫田小
學校で水野支部幹事は左の講演をした。

一、大熊星座と小熊星座

三、京都天文臺中村要氏は二十五日來岡され

翌二十六日午後八時から水野支部幹事宅で
例會催され、同氏は『變光星の觀測』の題
下には有益なる講演をされ、二十七日には會
員の來訪を受け、夜分は宮原支部幹事宅で
觀測、當夜は三時望遠鏡で十二等半の星を
見ることが出来た。昨今夕にも朝晩にも黃
道光見え、午後十時頃には對日照、午後二
時頃には金星を觀望することが出来、同氏
は二十八日歸洛された。

○岡山支部 九月通信(水野)

一、天界研究會 九日宮原幹事宅で開催。

二、通俗講演會 十六日午後六時から津山高
等女學校で開かれ、左の講演があつた後で
校庭の芝生の上で一同仰いで澄みきつた空
を眺め秋の氣分に満ち九時頃閉會。

秋の空

水野支部幹事

三、美作支部津山町を中心とせる美作國の會
員は漸次増加し熱心家が多いので、二十三
日附で山本孝二郎氏に支部幹事を囑託せら
れ美作支部が出来たので同支部では活動な
開始されて居る。健全なる發展を祈るので
ある。

四、會費集金の件支部で集金して本部に送つ

て居た會費を今後は集金郵便で集めること
になりましたから其の御積りに願ひます。

○美作支部設置

岡山縣の内苫田、英田、勝田、久米、眞庭
の五郡を一團として美作支部となし苫田郡津
山町大字上ノ町四八山本孝二郎氏を同支部幹
事に囑託し同氏方に事務所を置く。

十月の天象

太陽 十月中太陽の赤經は十二時二十八分
から十四時二十四分迄増加し、其赤緯は南
二度五十九分から十四度十六分迄増加する
九日午前十一時十分寒露節、二十四日午後
一時五十三分霜降。同日第二の秋の宮天蠍
宮に入る。

月 六日午前九時五十八分滿月。十四日午

前六時五十五分下弦月。二十日午後十時四
十分新月。二十七日午後十時二十六分上弦
月。五日午前五時遠地點に、二十日午前一
時近地點にあり。

水星 十五日には赤經十三時十六分、赤緯
南九度四十二分、乙女座にあり。十五日に
は太陽と混會となり、それから急に太陽か

ら離れて三十一日には西方十八度三十八分の最大離隔となる。明け方に水星は十七度地平線から上にあつて太陽の南七度の所にある。又輝くスピカ星の附近にあり此頃は觀望に好適であつて三十一日の前後數日間見えるであらう。一日午前九時南方最大日心黃緯。三日午後四時留。九日午後六時水星と合(水星は南四度二十六分)二十日午前六時四分に下弦月と合(水星は南一度三十八分)にあり。二十一日午前九時獅子宮に入る。二十四日午前六時留。午後十一時近日點に來る。

金星

十五日には赤經十五時五十九分、赤緯南二十六度二分即ち蝸座にあり。八日午後十時南方最大日心黃緯。同星は徐々に太陽に近づき來り、二十一日午後四時最大光輝に達する。此の頃には其の光度は眞四、三等或は言ひ換へれば九月十五日の光度の一、三倍となる。金星は蝸座アンターレスの近くにあるが、其輝は百六十倍もある。二十三日午後一時四十三分下弦月と合(金星は南十度三十七分)あり。

火星 十五日には赤經十九時二十六分、赤

緯南二十四度二十八分即ち射手座にあり。實際此時分は地球から太陽からの距離が殆ど等しく地球から九千七百十一萬二千哩太陽から火星まで九千二百六十萬七千哩ある光度は眞〇、一等に墮つた。二日には射手座シグマ星(二、一等)の一度北に來つて合となる。十日午後三時太陽と矩象(直角距離)十四日午前四時近日點にあり。二十七日午後一時五十三分下弦月と合(火星は南六度五十三分にあり)

木星

十五日には赤經十三時四十四分、赤緯南九度三十七分即ち乙女座にあり。今月は太陽に近過ぎて觀測不能。二十三日午後九時に太陽と合となり、それから後は曉の星となる。二十一日午前一時二十六分には下弦月と合(木星は南一度三十四分にあり)

土星

十五日には赤經十二時四十八分、赤緯南二度四十三分即ち乙女座にあり。五日午前二時太陽と合となり從つて近接し過ぎて觀望には不適當。二十日午前一時十八分下弦月と合(土星は北一度五分にあり)

天王星

十五日には赤經二十三時四十八分、赤緯南八度三十分即ち水瓶座ラムダ星

の南方を逆行中である。三日午後八時四分下弦月と合(天王星は南方二度四十分にあり)三十一日午前一時四分上弦月と合(天王星は南方二度二十九分あり)

海王星

十五日には赤經九時二十一分、赤緯北十五度三十八分即ち獅子座を運行中である曉天の星十六日午前九時三十九分には下弦月と合(海王星は北方三度四十七分にあり)

流星群

牡羊座流星群は前月より引き續き出現して十五日には最大多數の出現がある。九日から二十九日にかけてオリオン座流星群の出現あり、十九日に最大多數に達する。尙大熊座ミュー星より發する流星群は今月に始まり十二月迄繼續する。

おことわり

ハシエル紀念號は八、九月合本ですが、おもつと頁數が多く通常の二倍ある筈でしたが原稿が一時紛失したので、餘り頁數多くなつたのです。こゝに本號及次號に於て頁數を増加したのだからハシエル號の缺損を補ひ得たわけです。それ故依然ハシエル號は二倍號として價も四十錢と御承知下さい。そして同號奥附に定價十五錢とあつたのは四十五錢(一部賣)の誤植でありますから訂正します。